

はじめに 旭川市防災これ一冊まとまっぷとは？

災害は、いつどこで発生するかわかりません。

近年、激甚・頻発化している豪雨、台風、地震などの自然災害から命を守るためには、日頃から防災知識を身につけ、備え、災害が発生した場合やそのおそれがある場合には、「**自らの命は自らが守る**」という意識を持って、迅速に行動をとることが大切です。

「旭川市防災これ一冊まとまっぷ」は「洪水ハザードマップ」と「内水ハザードマップ」、そして「災害が起こった時に役立つ知識や事前の対策」を「一冊」に「まとめた」ものとして作成しました。

「災害への備え」の手引きとして、非常持ち出し品と一緒に普段から身近なところに置いて、家庭や地域で活用してください。

洪水ハザードマップ

+

内水ハザードマップ

+

災害時に役立つ知識や事前の対策

これ
一冊に！

まとまっぷ

目次

風水害・土砂災害	2~10ページ
ハザードマップ	11~37ページ
雪害	38ページ
地震災害	39~40ページ
停電	41ページ
防災情報・対策	42~44ページ
避難所等一覧	45~46ページ

旭川市の災害リスク

旭川市で想定される災害は、どのようなものが考えられるでしょうか？

下の「災害リスクの表」に記載された災害ごとに、次のページからの対処方法を確認していきましょう。

災害リスク

風水害 土砂災害

旭川は石狩川、忠別川、美瑛川、牛朱別川など大小の河川が市街地を流れる「川のみち」です。これらの河川の洪水のほか、土砂災害、内水氾濫、落雷、突風の危険性があります。

地震

全国どこでも起こりうる直下型地震として、市の直下でマグニチュード6.9の地震が発生すると、震度4~6強の極めて強い揺れが発生すると予測されています。

雪害

停電

暴風雪や各種災害に起因する停電の危険性があります。

火山

旭川近郊の活火山としては十勝岳と大雪山がありますが、地理的に離れているため、大きな噴石、火砕流、融雪型火山泥流などの影響が及ぶおそれは低いとされています。ただし、降灰による交通障害、ライフラインへの影響、健康被害などのおそれがあります。

洪水ハザードマップが新しくなりました 内水ハザードマップを作成しました

👉 ここが変わった！

洪水ハザードマップ

近年、気候変動により水害が激甚化・頻発化しており、ハザードマップ作成の対象となっていなかった中小河川の氾濫により、多くの浸水被害が発生しています。このことから38の中小河川の洪水浸水想定区域を反映させた新しい洪水ハザードマップを作成しました。

内水ハザードマップ

「まとまっぷ」では、内水氾濫による被害予測図と避難場所などの情報を地図上に表示した内水ハザードマップも載せています。内水氾濫についての詳しい情報は次のページを確認してください。

内水氾濫とは？

雨水を排水しきれずに下水道などから水があふれ浸水する現象のこと